

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	R C 基礎構造部材の耐震設計指針作成小委員会	主 査 名：塩原 等 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鉄筋コンクリート構造運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：壁谷沢寿海
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、2011 年 3 月に廃止されたパイルキャップ構造設計法検討小委員会の成果である、「鉄筋コンクリート基礎構造の耐震設計指針」の原案を引き継ぎ、基礎構造運営委員会との調整を図りながら、設計例の作成を通して、指針案本文・解説の見直しを行い、より完成度の高い指針と解説にすることを旨とするものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2011 年度：指針案に基づいた設計例の検討 ・ 2012 年度：指針案の提案・最終報告書の作成 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：塩原 等 (東京大学) 幹事：飯塚正義 (プレハブ建築協会)、小室 努 (大成建設) 委員：井川 望 (鴻池組)、和泉信之 (千葉大学)、井上芳生 (UR リンケージ)、梅村美孝 (安藤建設)、中西啓二 (清水建設)、小林勝己 (フジタ)、小林恒一 (原子力安全基盤機構)、高野公寿 (JFE テクノリサーチ)、平出 務 (建築研究所)、宮田章 (鹿島建設)、米澤健次 (大林組)、鈴木康嗣 (鹿島建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	設計例作成 WG：指針原案に基づいた設計例の作成を行う。 指針案検討 WG：指針原案の作成・検討を行う。	
2012 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 http://seismic.t.u-tokyo.ac.jp/users/RC2008-002/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	予定どおり、当初予定していた「鉄筋コンクリート基礎構造部材の耐震設計指針・同解説」の原案作成を終了した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	基礎構造運営委員会の基礎構造設計指針との内容および改定スケジュールとの調整を図りながら出版に進める必要がある。